

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2021 年 2 月 6 日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山三吉校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		指導員の数の受け入れなので時間帯や支援の組み合わせ、こども特性に合わせたスペースを作っています	
	②	職員の配置数は適切である	○		どの時間帯においても、利用者様と職員が1対1で支援できる環境を整えています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		事業所の間取りを技能スペース・職員室の大きく2フロアに分け、職員の目の届きやすいようにしています。また、事業所内の段差を無くしています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		日々の清掃や療育が終わるごとに机の上や周りを清掃し環境の保全に努めています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		毎支援後、必ず保護者様と支援に対する。利用者の日々の様子に関するフィードバックする時間を設け迅速に対応できる環境を整えています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年欠かさず公表を行っております。また、いただいた意見は株式会社クラ・ゼミとし共有・改善に	

				向けて取り組んで参ります。	
⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		⑥同上	事業所内で評価結果を周知するとともに、評価・改善内容について会社に集約しホームページにて公開します。
⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価はおこなっていませんが、福山地区3校舎が互いにチェック評価をおこなっています。また、会社内部評価の元、健全な運営をおこなっております。
⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月1度、地域研修。職員のレベル別の社内研修をおこなっています。また、発達支援研究所に研修を依頼し、知識面・技能面の専門的な発達に関する研修も行っています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		毎支援後、必ず保護者様と支援に対する・利用者の日々の様子に関するフィードバックする時間を設け迅速に対応できる環境を整えております。また、定期的に事業所内でケース会議をすることで一指導員だけでなく事業所として利用者の個別支援計画書を作成しております。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		初回面談時、受付シートにて行っております。

⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		個別療育という事業所所の特性を反映し、保護者様、お子様、事業所3視点で目標設定を立てています。	
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		ケース会議・事業所内ミーティング・支援記録の振り返りなどを通して確認し、必要によっては個別支援計画の再設定をおこなっています。	
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		⑬同上	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		⑬同上	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		利用者様によっては、集団療育をしている事業の斡旋を行っています。	個別支援に特化しており、集団療育の機会が少ないため、定期的に集団療育のイベントを行っています。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼・終礼にてご利用者様の情報を各職員の担当を共有しています。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		⑰同上	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		株式会社クラ・ゼミとして内部監査を毎年行いセルフチェックをしています。また、月末に必ずセルフチェックをしています。	
⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		⑬同上 また、担当制を導入し細かな変化に気が付ける体制を整えています。	

関係機関や保護者との連携	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達責任者並びに、担当職員が参加しています。	
	⑳	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		積極的に保育園・幼稚園・関係機関に出向き、現場の職員さんと意見交換をしています。常に見学OKにし当事業所での様子が知れるようにしています。	
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			該当者なし。 該当ケースがある場合には積極的に連携の機会を設けます。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		㉑同上
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		㉑同上	
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		㉑同上	
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		㉑同上	
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		㉑同上	
	㉗	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		毎回欠かさず出席させていただきます。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		㉑同上	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		療育の内容によっては保護者同伴で支援に参加していただき、お子様との関わり方、ご家庭でのあ	

保護者への説明責任等

				り方などアドバイス させていただいてお ります。	
③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っ ている	○		初回の契約時に、ご利用 者様の状況に合わせた 具体的な金額を用い ながら説明させていた だいております。また、 校舎入口にいつでも 見られる、説明でき るようにしています。	
③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供 すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき 作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援 内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画 の同意を得ている	○		個別支援計画作成、 実施の際には、児童 発達管理責任者のみ ならず、直接支援を する担当指導員も自 分の言葉で言い換え 文字では伝えづらい 認識の違いをなくす ように努めています。	
③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		日々の振り返りや モニタリング時、 必要に応じて時間 を確保して保護者 の相談に応じてい ます。	
③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催す る等により、保護者同士の連携を支援している		○		現状は実施できておりま せん。ご利用様がつな がりをもてるよう、当社 以外の関係機関の斡旋を 行っております。
③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、 相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応し ている	○		相談申し入れにつ きまして、営業時 間帯いつでも対応 できるようにして います。	
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、 連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信し ている	○		ライン公式サービ ス・当社HPを活用 し、事業所イベント の告知をおこなって います。	
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵のかかる書庫に て管理していま す。	

	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		お子様・保護者様 1人ひとりに寄り添うスタンスのものの支援をさせて頂き、困り事を聞けるよう常に心がけています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている		○		③⑤同上 利用者の特性に考慮しながら地域参加型のイベントを構想をしています。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		毎月、防災訓練を実施しています。年間スケジュールを組み、年に2回は、ご利用者様と一緒に避難訓練を実施しています。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		④①同上	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメントシートや面談時にて確認をしています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		保護者からの情報に従っているため、今後指示書の提出をお願いしていきたいです。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		福山地区3校舎でヒヤリハットを共有し事故防止に努めています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年、市主催の研修を始め、社内でも独自の研修・ストレスチェックをしています。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		運営規程や身体拘束についても重要事項説明書に明記し、該当の児童がいれば対応していく体制を整えています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。



## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山三吉校 保護者等数（児童数：5 回収数：4 割合：80 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	4					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4					コロナ禍で徹底して換気、消毒に努めます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	1			ガイドラインの内容がよく知らなくて。	ご指摘を真摯に受け入れ個別支援計画の見直しをさせていただきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3		1			
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3	1				



明等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	1	1		日々の療育の中で取り組みをさせていただきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	3	1		子どもが一緒にいる場でお話をするので内容が限られてしまうと感じます。	こちらから提案をさせていただきます1対1で話せる場を作りたいと考えます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	1			
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	2		進路のことなど話せる場を設けていきたいと考えます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4				
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4				月に2度ブログの更新をしています。ご確認ください。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	4				
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4			入口に、マニュアル等があり目につきやすくて良いと思います。	常に、安心して療育が提供できるよう努めます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3		1		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	3	1			日々、楽しみにしている事業所を目指します。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	4				引き続き、満足していただけるよう取り組んで参ります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。